



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング
コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	23,691	7.5	5,268	12.3	5,590	20.7	3,237	76.4
24年3月期第3四半期	22,033	3.9	4,689	1.4	4,630	△2.2	1,835	△1.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,388百万円 (99.2%) 24年3月期第3四半期 1,701百万円 (△18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	169.97	—
24年3月期第3四半期	98.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	57,324	43,929	76.6	2,306.07
24年3月期	58,031	42,046	72.5	2,207.21

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 43,929百万円 24年3月期 42,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,300	5.0	5,900	12.7	6,100	15.3	3,850	38.5	202.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	22,720,000 株	24年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,670,576 株	24年3月期	3,670,514 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	19,049,425 株	24年3月期3Q	18,713,835 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等に牽引されて回復基調にあるものの、長引く円高、欧州の財政危機問題、新興国の景気減速、中国との関係悪化等により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきまして、パチンコ機の設置台数は減少傾向にある一方で、パチスロ機は依然として人気が高く、設置台数は増加傾向にあり、パチスロ機を中心とした設備投資は積極的に行われました。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品のリリースを行ってまいりました。また、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努め、他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高236億91百万円（前期同四半期比7.5%増）、営業利益52億68百万円（同12.3%増）、経常利益55億90百万円（同20.7%増）、四半期純利益32億37百万円（同76.4%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[アミューズメント関連事業]

集客のために玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、従業員の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を中心に提案販売してまいりました。パーソナルの機能面や利便性は、パチンコホールや遊技ファンに高く評価され、発売以来、導入店舗数は増加し続けております。競合他社の参入により、価格競争は厳しくなっているものの、パーソナルを含めた各台計数システムの市場は拡大しており、業界標準システムとして認知されつつあります。

当第3四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は161店舗、当四半期連結累計期間末時点における累計導入店は1,114店舗（市場シェア11.6%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は173店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,094店舗（市場シェア21.7%）となりました。

パーソナルの他に、パチスロ機人気を背景にメダルサンドの販売が好調に推移しました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、184億75百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益43億61百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

[自動認識システム関連事業]

当事業は、アミューズメント関連事業に続く事業の柱として、当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、RFIDやバーコード等を活用した自動認識システムを販売してまいりました。

実績のある医療、教育、図書館、FA分野において広く自社製品を販売するとともに、「自動認識」をキーワードとする新市場を模索するため、あらゆる分野のビジネス展示会に積極的に出展してまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、44億83百万円（前年同四半期比46.6%増）、セグメント利益4億95百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

[ホテル関連事業]

観光業界においては、回復の兆しが見受けられるものの、海外経済の減速や不安定な国際情勢の影響、販売競争の激化等、先行き不透明な要因も多く、ホテル経営を取り巻く環境は厳しい状況が続きました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと質の高いサービスが評価され、リピート客が多く、震災後に一時的な落ち込みはあったものの、稼働率は震災前の水準に回復いたしました。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、テレビコマーシャルの放映で知名度の向上を図り、インターネット媒体や旅行代理店等を通じた販売チャネルの拡大で、稼働率のアップを図ってまいりました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、7億32百万円（前年同四半期比17.4%増）、セグメント損失2億28百万円（前年同四半期は3億81百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は573億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億6百万円減少いたしました。

流動資産は349億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億50百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、現金及び預金が30億25百万円減少し88億93百万円となりました。

固定資産は223億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億43百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が28億31百万円増加し57億37百万円となりました。

流動負債は85億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億19百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が3億44百万円減少し29億45百万円、未払法人税等が7億34百万円減少し3億99百万円となりました。

固定負債は48億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億70百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が2億63百万円減少し27億76百万円となりました。

純資産は439億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億83百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が17億32百万円増加し357億96百万円となりました。

自己資本比率は76.6%となり、前連結会計年度末と比較して4.1ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は138億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億24百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は20億19百万円の収入(前年同四半期は31億21百万円の収入)となりました。主な要因は、売上債権の減少額5億11百万円、リース投資資産の減少額3億60百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は30億63百万円の支出(前年同四半期は3億34百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出30億15百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は10億86百万円の支出(前年同四半期は10億32百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額10億86百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,919,047	8,893,053
受取手形及び売掛金	8,711,272	8,015,037
リース投資資産	4,574,250	4,164,817
有価証券	4,588,334	5,490,645
商品及び製品	2,008,049	2,098,215
仕掛品	389,240	179,124
原材料及び貯蔵品	1,867,897	1,687,132
その他	3,966,432	4,444,619
貸倒引当金	△14,552	△12,782
流動資産合計	38,009,971	34,959,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,465,396	8,213,802
土地	5,862,338	5,862,338
その他(純額)	564,158	552,521
有形固定資産合計	14,891,893	14,628,662
無形固定資産		
のれん	144,954	101,467
その他	200,647	176,236
無形固定資産合計	345,601	277,704
投資その他の資産		
投資有価証券	2,906,429	5,737,781
その他	2,102,884	1,942,072
貸倒引当金	△225,765	△221,661
投資その他の資産合計	4,783,548	7,458,191
固定資産合計	20,021,043	22,364,559
資産合計	58,031,015	57,324,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,290,213	2,945,304
リース債務	2,114,046	2,080,571
未払法人税等	1,133,721	399,192
賞与引当金	406,248	201,971
その他	3,957,328	2,955,328
流動負債合計	10,901,557	8,582,369
固定負債		
リース債務	3,040,709	2,776,769
退職給付引当金	117,364	154,076
役員退職慰労引当金	568,755	582,489
資産除去債務	18,500	18,806
その他	1,337,972	1,280,559
固定負債合計	5,083,303	4,812,700
負債合計	15,984,860	13,395,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	34,064,452	35,796,693
自己株式	△7,954,082	△7,954,192
株主資本合計	42,416,299	44,148,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△370,144	△219,078
その他の包括利益累計額合計	△370,144	△219,078
純資産合計	42,046,155	43,929,352
負債純資産合計	58,031,015	57,324,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	22,033,607	23,691,618
売上原価	11,130,246	11,963,021
売上総利益	10,903,361	11,728,597
販売費及び一般管理費	6,213,721	6,460,051
営業利益	4,689,639	5,268,546
営業外収益		
受取利息	6,134	3,939
受取配当金	62,432	189,434
負ののれん償却額	8,098	—
その他	91,614	128,243
営業外収益合計	168,279	321,618
営業外費用		
支払利息	12,202	—
持分法による投資損失	207,983	—
その他	7,281	—
営業外費用合計	227,468	—
経常利益	4,630,451	5,590,164
特別利益		
段階取得に係る差益	271,960	—
投資有価証券売却益	—	21,000
関係会社清算益	—	50,786
その他	169	—
特別利益合計	272,130	71,786
特別損失		
固定資産除却損	331	—
投資有価証券売却損	769,033	—
投資有価証券評価損	334,909	319,482
会員権評価損	300	—
特別損失合計	1,104,574	319,482
税金等調整前四半期純利益	3,798,006	5,342,468
法人税、住民税及び事業税	1,854,604	1,725,603
法人税等調整額	107,546	378,962
法人税等合計	1,962,151	2,104,566
少数株主損益調整前四半期純利益	1,835,855	3,237,901
四半期純利益	1,835,855	3,237,901

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,835,855	3,237,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156,203	151,066
持分法適用会社に対する持分相当額	21,397	—
その他の包括利益合計	△134,805	151,066
四半期包括利益	1,701,049	3,388,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,701,049	3,388,968

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,798,006	5,342,468
減価償却費	551,129	495,151
のれん償却額	14,495	43,486
負ののれん償却額	△8,098	—
引当金の増減額(△は減少)	△183,053	△158,231
受取利息及び受取配当金	△68,567	△193,374
支払利息	12,202	—
持分法による投資損益(△は益)	207,983	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△271,960	—
関係会社清算損益(△は益)	—	△50,786
固定資産除却損	331	—
投資有価証券評価損益(△は益)	334,909	319,482
投資有価証券売却損益(△は益)	769,033	△21,000
会員権評価損	300	—
売上債権の増減額(△は増加)	16,481	511,940
リース投資資産の増減額(△は増加)	727,104	360,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	642,138	36,711
営業貸付金の増減額(△は増加)	654,920	△825,829
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,710	△263,872
リース債務の増減額(△は減少)	△761,403	△297,414
前受金の増減額(△は減少)	△1,168,582	△913,409
その他	620,210	△129,988
小計	5,870,871	4,255,839
利息及び配当金の受取額	68,654	193,359
利息の支払額	△12,369	—
法人税等の支払額	△2,805,836	△2,429,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,121,320	2,019,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,665	△127,553
投資有価証券の取得による支出	△1,005,161	△3,015,604
投資有価証券の売却による収入	720,000	120,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	173,414	—
関係会社の整理による収入	—	42,678
貸付金の回収による収入	293	729
その他	△112,273	△83,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334,392	△3,063,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△9,900	—
長期借入金の返済による支出	△53,054	—
自己株式の取得による支出	△144	△110
配当金の支払額	△969,415	△1,086,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,032,513	△1,086,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,741	6,245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,750,672	△2,124,117
現金及び現金同等物の期首残高	12,747,852	15,957,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,498,524	13,833,069

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	18,350,994	3,059,346	623,265	22,033,607	—	22,033,607
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	357,131	44,677	224	402,033	△402,033	—
計	18,708,126	3,104,023	623,490	22,435,640	△402,033	22,033,607
セグメント 利益又は損失 (△)	4,242,817	418,721	△381,463	4,280,075	409,564	4,689,639

(注) 1. セグメント利益の調整額409,564千円には、セグメント間取引消去409,564千円が含まれておりま
す。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	18,475,830	4,483,782	732,005	23,691,618	—	23,691,618
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	496,200	136,163	209	632,573	△632,573	—
計	18,972,030	4,619,946	732,215	24,324,191	△632,573	23,691,618
セグメント 利益又は損失 (△)	4,361,344	495,838	△228,122	4,629,059	639,486	5,268,546

(注) 1. セグメント利益の調整額639,486千円には、セグメント間取引消去639,486千円が含まれており
ます。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度までの報告セグメントは、「アミューズメント関連事業」、「ホテル関連事業」に区分して
おりましたが、当社グループは組織構造の変更に伴い、業績の評価単位を見直した結果、第1四半期連結
会計期間より、「アミューズメント関連事業」及び「その他」に含まれておりました「自動認識システム関
連事業」を新たな報告セグメントとして区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、業績の評価単位変更後の報告セグメントの区分に
基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。